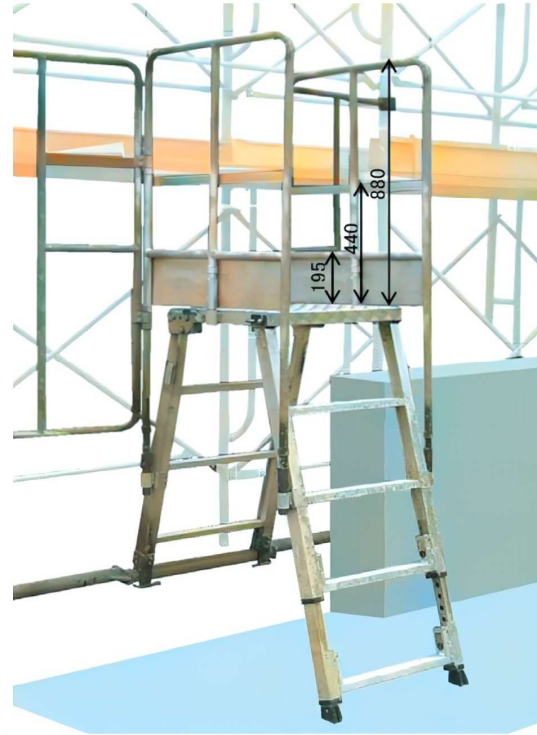


特 徴

- 1) 用途

従来、外部足場と躯体間の乗り越しには、単管パイプと自在ステップ等を使用し、現場に合わせて通路を構成していました。ベランダブリッジはこれに代わり、組立解体が簡単で、安全を重視した架設通路です。
- 2) 使用時
 - ① 取付けする足場は、1,800~1,829に使用できます。
 - ② 足場側の床レベルにより、上下どちらからでも昇降することができます。
 - ③ 本体両サイドの手すりが大きいので、昇降時に安心です。また、幅木もありより安全です。
 - ④ 足場側の手すりは上下スライド式ですから、使用位置に合わせて、作業者を安全にガードします。
 - ⑤ 壁の型枠、コンクリートの作業時も、盛り替えせずに使用できます。
- 3) 設置・解体
 - ① ベランダブリッジはラチェット1本で設置、解体ができます。
 - ② 本体はアルミ合金製で軽量なため、作業が楽におこなえます。
 - ③ 本体以外の鋼製部材は溶融亜鉛メッキですので、劣化の心配がありません。
 - ④ 各部材とも個別の状態では、全てコンパクトに折り畳め、運送効率に優れます。

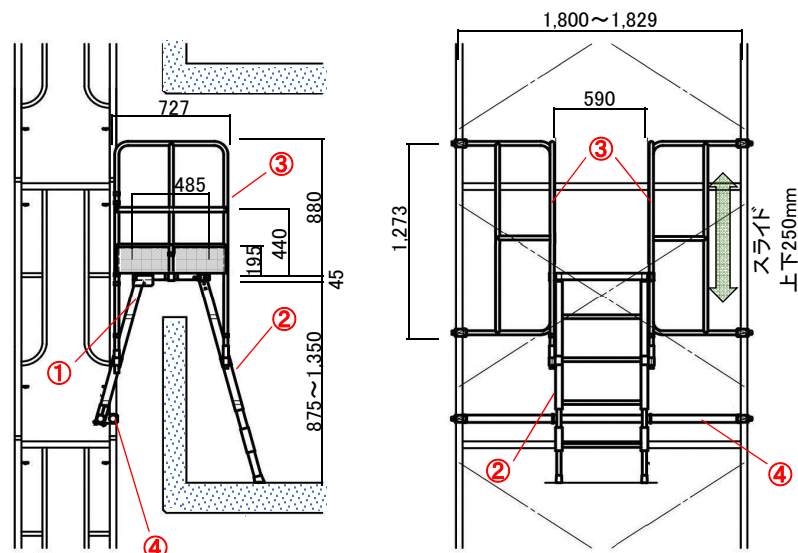


◆ 設置順序

解体方法は、この逆手順で行います

No.	組立て順序	説明図
①	躯体のベランダ手摺壁の高さに、余裕をプラスして、脚の高さを決め、差込脚をこれに合わせてピンでセットします。	
②	ブリッジの天板が水平になるように、根がらみの位置を決めて固定します。根がらみは、中央部が足場の内側にくるようにします。	
③	本体Aを根がらみの中央に載せ、躯体側の本体Bと組立て、ピンで固定します。次に調整脚を等間隔の位置に合わせてセットします。また、本体A側の吹き上げ防止ネジを締め付けます。	
④	手摺枠 (固定手摺) 部を、ブリッジ本体の固定金具 (3ヶ所) に差し込みます。この時、回転手摺のクランプは、開いたまま、建枠の建地に添わせるようにしておきます。次に手摺枠 (回転手摺) 部の高さを合わせてクランプを締め付けます。	
⑤	最後に、反対側の手摺枠を取り付けすると、組立て完了です。(なお、手摺枠は、左右共用です。)	

◆ 構成部材

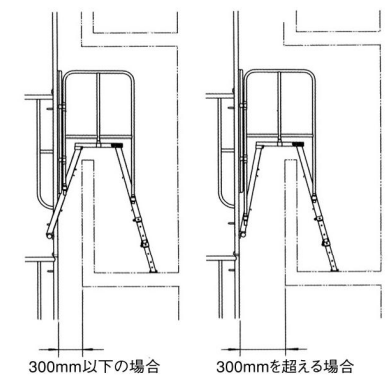


No.	商品名	品番	単重 (kg)	1set数量	許容荷重
①	本体A	BLB-AA	8.8	1	1.47 kN
②	本体B	BLB-BA	6.8	1	
③	手すり枠	BLB-HN	12.4	2	
④	根がらみ	BLB-L	6.8	1	

使用上の注意

- 1) 使用前に、ネジ、ピン、クランプ等が確実に利いている事を、確認して下さい。
- 2) 許容荷重 (150kg) を超える荷重は、かけないで下さい。
- 3) 昇降する足場のレベルは、上下いずれからでも可能ですが、安全のためできるだけ下位レベルから昇降するようにして下さい。また、昇降するレベルは一方に決めて下さい。この時、昇降しないレベルのブレースは、外さないで下さい。
- 4) 使用する場合、手摺には載らないで下さい。
- 5) ベランダ側の脚端が、浮いている状態では、絶対に昇降しないで下さい。

- 6) ベランダブリッジは足場と躯体との間隔が300mm開いている時にベランダの手摺壁がほぼブリッジの中央に位置します。故にそれ以外の間隔の場合では、右図のように片寄り状態となります。(ただし300mmより間隔が大きい場合には、根がらみの取り付け方向によってこれを修正することが可能となります。約100mm)



- 7) ベランダブリッジをセットしたスパンの両サイドのブレースは、取りはずさないで下さい。

